

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 石川県

農業委員会名： 輪島市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年8月1日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	15	15
認定農業者	—	2
認定農業者に準ずる者	—	6
女性	—	2
40代以下	—	—
中立委員	—	1

任命・委嘱年月日 令和3年8月1日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	15	15	15

2 農地・農家等の概要

	経営体数
総農家数	1451
農業経営体数	673

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数
基幹的農業従事者数	730
女性	245
40代以下	60

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営対数（経営体）
認定農業者	50
基本構想水準到達者	10
認定新規就農者	2
農業参入法人	0
集落営農経営	5
特定農業団体	0
集落営農組織	5

※農業委員会調べ

単位：ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1620	354	354			1970

※直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	1970ha	673ha	34.2%
課題	優良農地を中心に担い手への農地の利用集積が行われているが、農業者の高齢化に併せ、少子高齢化による農業後継者不足により担い手が不足しており、今後の集積拡大が懸念されている。		

- ※ 1農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入
- ※ 2「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう
- ※ 3「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和8年度	集積率	80.0%
今年度の新規集積面積	143ha	農地面積(C)	1970ha
今年度末の集積面積(累計) (D)	816ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	41.4%

※農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集率を記入

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	257ha	154ha	103ha
課題	少子高齢化・過疎化という人口的要因及び農地が中山間地に小規模に点在するという地理的要因から耕作放棄地が増加している。		

②目標

ア既存遊休農地の解消

a緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	154ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	31ha

※緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	103ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	県等と協議を行いながら工程表の策定に努める。

イ新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	4ha
---------------------------	-----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	元年度新規参入者	2年度新規参入者	3年度新規参入者
	0経営体	0経営体	0経営体
	0ha	0ha	0ha
課題	担い手の高齢化が進んでいるため、認定農業者制度や法人化の意義、メリット等について、対象者別に説明会や個別訪問等を実施して理解を得つつ、担い手を確保する必要がある。		

※現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平均
	54ha	47ha	24ha	42ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			5ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6日／月	最適化活動を行う 農業委員の人数	14人
		農地利用最適化推進委員の 人数	15人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3回
-------------	----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
R4年11月	②	農地パトロール強化・回数の増
R5年1月	②	農地パトロール強化・回数の増
R5年2月	②	農地パトロール強化・回数の増

※ 1取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※ 2強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	8月	相談会名	いしかわ農林漁業マッチングフェア
参加者数	5名	開催場所	地場産コンベンションホール
相談会の内容	能登地区のマッチングフェアを視察し、新規就農希望者の有無やその数、就農希望者のニーズ等を把握して、新規就農促進策を検討する為の資料とする。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)